

目次

前書き・・・・・・・・・・ 3

1章

【幸福についての〈女の背ほね〉40〜70代】
苦勞は必ずしも不幸ではない

幸、不幸は心の持ちよう一つ・・・・・・・・・・ 14

お忙しい・・・・・・・・・・ 20

東海道カゴかき・・・・・・・・・・ 27

偉くなるなよ・・・・・・・・・・ 30

書くことに支えられる	35
演説病	39

2章

【私好みの（女の背ほね）50〜70代】 適当に賢く、適当にヌケている

もしも私が男だったら	48
名文を食べる	54
ケチ道 <small>どろ</small> を歩む人	59
贈り物は人なり	65
料理も人なり	70
人間の魅力	76

3章

【夫婦関係の（女の背ほね）40〜60代】 慢性の病気を克服していくように

悪妻の弁	86
キリキリまい夫人	89
女房のやきもち	92
隣の花	95
慢性の病気を克服していくように	99
別れる資格	108
離婚の美学	114
スツキリ症候群	120

4章

【親としての〈女の背ほね〉40〜60代】
女と母は強くあれ

ヒヨコの墮落	126
超スパルタママに乾杯!	130
一心不乱に耐える	139
可哀そう? 何が?	144
アタマは何のためにあるのか	150

5章

【男性に対する〈女の背ほね〉50〜60代】
これが男というもの

偉く見られたい欲望	158
-----------	-----

6章

【老いを生きる〈女の背ほね〉50〜70代】
いつ死んでも未練はない

看病人	192
まことの花	196
もう沢山	198
花咲いて老いを知る	219